

令和4年度最適化活動の目標の設定等

都道府県名： 岩手県
 農業委員会名： 雫石町

I 農業委員会の状況(令和4年4月1日現在)

1 農業委員会の現在の体制

任命・委嘱年月日 令和3年5月15日

任期満了年月日 令和6年5月14日

	農業委員	
	定数	実数
農業委員数	11	11
認定農業者	—	6
認定農業者に準ずる者	—	—
女性	—	2
40代以下	—	1
中立委員	—	1

	定数	実数	担当区域数
農地利用最適化推進委員	18	17	18

2 農家・農地等の概要

	経営体数
総農家数	1,133
農業経営体数	896

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	農業者数(人)
基幹的農業従事者数	1,267
女性	531
40代以下	133

※ 直近の「農林業センサス」又は「農業構造動態調査」に基づいて記入

	経営体数(経営体)
認定農業者	251
基本構想水準到達者	56
認定新規就農者	6
農業参入法人	0
集落営農経営	9
特定農業団体	1
集落営農組織	8

※農業委員会調べ

単位:ha

	田	畑				計
			普通畑	樹園地	牧草畑	
耕地面積	3,990	2,010	—	—	—	6,000

※ 直近の「耕地及び作付面積統計」に基づいて記入

II 最適化活動の目標

1 最適化活動の成果目標

(1) 農地の集積

① 現状及び課題

現状	管内の農地面積(A)	これまでの集積面積(B)	集積率(B)/(A)
	6,000 ha	3,750ha ha	62.5 %
課題	農業従事者の減少・高齢化等により農地の出し手が増えているが、担い手の規模拡大も厳しくなっている。		

※1 農地面積は、直近の「耕地及び作付面積統計」における耕地面積を記入

※2 「農地の集積」は、経営局長通知の別表1に掲げる者への農地の集積をいう

※3 「集積面積」は、局長通知別表1に掲げる者へ集積された農地の面積をいう(以下同じ。)

② 目標

農地の集積の目標年度	令和7年度	集積率	80 %
今年度の新規集積面積	100.17 ha	農地面積(C)	6,000.0 ha
今年度末の集積面積(累計)(D)	3,850.17 ha	(目標)今年度末の集積率 (E)=(D)/(C)	64.1 %

※ 農地の集積の目標年度及び農地集積率には、設定した目標の根拠とした目標の目標年度及び当該目標年度における農地集積率を記入

(2) 遊休農地の解消

① 現状及び課題

現状	直近の利用状況調査により判明した遊休農地の状況		
	1号遊休農地面積	うち緑区分の遊休農地面積	うち黄区分の遊休農地面積
	17 ha	11 ha	6 ha
課題	高齢化による労働力不足及び後継者不在のため、荒廃が進行した農地が町内各地において散見されるため、解消に向けた対策を講じる必要がある。		

② 目標

ア 既存遊休農地の解消

a 緑区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積	11 ha
緑区分の遊休農地の解消目標面積	2 ha

※ 緑区分の遊休農地の解消目標は、令和3年度の利用状況調査における緑区分の遊休農地面積の5分の1の面積を記入

b 黄区分の遊休農地の解消

令和3年度の利用状況調査における黄区分の遊休農地	6 ha
--------------------------	------

黄区分の遊休農地の解消のための工程表の策定方針	農地所有者を対象とした文書による利用状況調査の結果を参考に、町内全筆について現地確認を行い、工程表素案を作成する。
-------------------------	---

イ 新規発生遊休農地の解消

前年度に新規発生した緑区分の遊休農地の解消目標面積	— ha
---------------------------	------

(3)新規参入の促進

①現状及び課題

現状	令和元年度新規参入者		令和2年度新規参入者		令和3年度新規参入者	
	1	経営体	2	経営体	3	経営体
	1.56	ha	8.15	ha	2.6	ha
課題	地域農業の担い手の高齢化や後継者不足が進行する中、農業生産に従事するだけでなく、農地や農業施設の維持管理活動など、農村生活・組織等を維持するためにも、若い農業後継者や新規参入者の確保と育成が必要となっている					

※ 現状欄は、直近3年度の新規参入した経営体数と当該経営体の経営面積の合計の農地面積を記入

②目標

権利移動面積	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平均
	223 ha	147 ha	117 ha	162 ha
新規参入者への貸付等について農地所有者の同意を得た上で公表する農地の面積			16.25 ha	

*

※2 目標面積は、過去3年度の権利移動面積の平均の1割以上を記入

2 最適化活動の活動目標

(1)推進委員等が最適化活動を行う日数目標

1人当たりの活動日数	10 日/月	最適化活動を行う農業委員の人数	10 人
		農地利用最適化推進委員の人数	17 人

(2)活動強化月間の設定目標

活動強化月間の設定回数	3 回	
取組時期	取組項目	強化月間の内容
6月	②	農地利用状況調査
7月	②	農地利用状況調査
11月	①	人・農地プラン懇談会

※1 取組項目欄は、①農地の集積、②遊休農地の解消、③新規参入の促進のいずれかを記入

※2 強化月間の内容欄は、活動強化月間の具体的な取組の内容を記入

(3)新規参入相談会への参加目標

新規参入相談会への参加回数	2 回		
開催時期	R4.8	相談会名	新農業人フェアinいわて
参加者数	2	開催場所	いわて県民情報交流センター アイーナ
相談会の内容	Uターン希望者や新たに農業にチャレンジする方々を対象として、県内の就農に関する的確な情報を行うために岩手県農業公社が定期的に開催。新規就農セミナー、個別相談会を予定。		
開催時期	R5.1	相談会名	新農業人フェアinいわて
参加者数	2	開催場所	いわて県民情報交流センター アイーナ
相談会の内容	Uターン希望者や新たに農業にチャレンジする方々を対象として、県内の就農に関する的確な情報を行うために岩手県農業公社が定期的に開催。新規就農セミナー、個別相談会を予定。		

※ 新規参入相談会への参加回数欄は、推進委員等が1名以上参加する相談会の数を記入
(参加者数によらず、1名以上が参加する新規参入相談会ごとに1回とする)